

大石さんの 100歳市長が祝福



2月23日に100歳の誕生日を迎える門屋の大石伊平さん宅を22日、石原茂雄市長が訪ね、祝い状や記念品などを贈り、長寿を祝いました。

黒潮キッズ東海での活躍誓う



県小学生バレーボール選抜優勝大会で優勝した黒潮キッズバレーボールスポーツ少年団の選手らが2月16日、石原市長に東海大会での健闘を誓いました。

浜中生徒会 200人が奉仕活動



浜岡中1、2年の生徒会や有志約200人が1月27日、学校周辺や八千代公園などで「浜中クリーンアップ大作戦」に取り組み、ごみ拾いに汗を流しました。

児童館へ伊達直人から贈り物



浜岡中央児童館へ2月3日、「伊達直人」の名で福豆と菓子の詰め合わせ10袋が贈られました。豆は、豆まきで子どもたちに振る舞われました。

9分団の基地がリニューアル



市消防団第9分団の器具置き場と詰所が完成し1月21日、落成式が開かれました。総事業費は約4,047万円。600万円の地元負担金が充てられています。

合 戸で抵抗性マツ 600本

松くい虫被害で枯れた海岸保全林の機能を復元させ、緑の景観を後世に残そうと合戸町内会（増田勉町内会長）と市の共催で2月13日、ボランティア植樹が開催されました。

地区役員や地元市民、小さな親切運動静岡県本部の会員、市職員ら約100人が合戸の保全林へ抵抗性クロマツ600本を植えました。増田町内会長は「古里で生きた証しをしるすもの。思いを込めて植えてほしい」とあいさつ。参加者は深さ30センチほどの穴を掘り、高さ50センチほどの苗木を丁寧に植えていきました。

クロマツの苗木を植えていく参加者



各 所で「鬼は外、福は内」

節分の2月3日、市内各所の神社や幼稚園、保育園などで恒例の節分行事が開かれました。高松神社では氏子の年男、年女たちが舞台から福豆をまいて一年の無病息災を願いました。

午後4時30分、神事が終わり福豆や紅白の餅などが一斉にまかれると、氏子や市民など境内へ詰め掛けた約250人から「おーい、こっち、こっち」などと歓声が上がりました。懸命に両手を天に差し出したり、しゃがんだりして福を拾い集め、持参した袋に詰めていました。

境内で無病息災を祈って福を集める市民

